

仕 様 書

1 概要

この仕様書は、広島県立庄原実業高等学校に設置する電話交換設備に関して、適正かつ支障なく設備の使用ができるように示すものである。

2 電話交換機及びその付属物

(1) 電話交換機本体 1 式

① 交換方式

プロセッサ	16 ビットマイクロプロセッサ
制御方式	蓄積プログラム制御方式
中継方式	ダイレクトライン、ダイレクトインライン、ダイヤルイン
内線呼量	6. 0 H C S / 内線

② 回線数

品目	実装	備考
局線 (アナログ)	3	
多機能電話機	6	
停電用多機能電話機	3	
簡易多機能電話機	49	
DSS コンソール	1	
一般電話機	1	留守番電話接続
校内放送	1	

交換機収容電話番号

- 0824-72-2151 (アナログ回線) → 代表番号、着信専用 代表番号制着信順位 1
- 0824-72-2180 (アナログ回線) → 発信・着信可能 代表番号制着信順位 2
- 0824-72-2150 (アナログ回線) → 発信・着信可能 代表番号制着信順位 3

③ 機能

- ・ 代表番号を発信番号として通知できること。

- ・ 既設校内放送と接続し利用可能であること。
- ・ 発信する際に事業者識別番号をボタン等の操作をすることなく、本校が指定する電話会社の回線が利用できること。また、事業者識別番号の変更が容易にできること。
- ・ 本交換機はI P化対応とし、ハードウェアの追加のみでI Pネットワークへの接続ができ内部に対しても基板の追加でL A N環境に接続できる機能を有すること。
- ・ 仕様に示す機能のほか、市場に流通している、一般的な電話交換機本体としての標準的機能があること。

(2) 電源装置 1 式

停電時において、3 時間以上停電補償が行えること。

(3) 多機能電話機ほか

① 種類及び台数

停電用多機能電話機 3 台

- ・ 停電電話機
- ・ ランプ内蔵ファンクションボタンが 16 個以上あること。
- ・ 電話の着信時、外線、内線の区別なく、応答ボタン等の操作をしなくても、受話器を取るだけで通話ができること。
- ・ 液晶ディスプレイ等の表示機能があること。

多機能電話機 6 台

- ・ ランプ内蔵ファンクションボタンが 16 個以上あること。
- ・ 電話の着信時、外線、内線の区別なく、応答ボタン等の操作をしなくても、受話器を取るだけで通話ができること。
- ・ 液晶ディスプレイ等の表示機能があること。

簡易多機能電話機 49 台

- ・ ランプ内蔵ファンクションボタンが 8 個以上あること。
- ・ 内線の着信時、応答ボタン等の操作をしなくても、受話器を取るだけで通話ができること。
- ・ 発信規制ができる機能があること。
- ・ 液晶ディスプレイ等は表示機能があること。

留守番電話装置 1 台

- ・ 応答メッセージはフラッシュメモリ等に録音可能なこと。
- ・ 応答メッセージは 3 種類設定でき手動にて切り替えが可能なこと。
- ・ 留守番電話のセットは電話交換機の機能にて、多機能電話機のファンクション

ボタンにその機能を割り付けて操作できるものとする。

- ・ 留守番電話装置の収容回線は1回線とする。
- ・ 上記の要件を満たす留守番電話機能が交換機本体に登載されている場合、後付けの留守番電話装置を整備せず交換機のみを整備でも足りる。ただし、留守番電話機能を利用するために交換機の設定が別途必要であれば、設定作業も併せて行うこと。

通話録音装置 2台

- ・ 録音内容はフラッシュメモリ等の媒体に録音できるものとする。
- ・ 録音日時が表示できる液晶ディスプレイ等の表示機能があること。
- ・ 録音容量は4時間以上あること。
- ・ 録音の開始、終了は自動又は手動の選択が可能なこと。
- ・ 上記の要件を満たす録音機能が交換機本体に登載されている場合、後付けの通話録音装置を整備せず交換機のみを整備でも足りる。ただし、録音機能を利用するのに交換機の設定が別途必要であれば、設定作業も併せて行うこと。

D S S コンソール 1台

- ・ ランプ内蔵ファンクションボタンを80窓以上有すること。なお、D S S コンソール1台ではファンクションボタンが不足する場合、拡張ユニット等追加機器の整備によってボタンの不足を補ってもよい。
- ・ ファンクションボタンに内線番号を割付け、ワンタッチでの呼び出し及び使用状態の確認が可能なこと。

② 電話機共通項目

- ・ 液晶ディスプレイ等の表示機能があること。(該当機器のみ)
- ・ 着信ランプがあること。
- ・ 着信音識別機能(外線、内線着信の区別が出来る)があること。
- ・ ランプ内蔵ファンクションボタンは、ランプ2色点灯(自電話、他電話の通話及び保留の区別)ができること。
- ・ 通話保留機能があり、長時間経過した時の保留警告音機能もあること。保留から警告音鳴動までの時間は任意に設定できること。
- ・ 通話保留音は学校の校歌を設定すること。校歌の音声データは別途提供する。
- ・ 呼出内線が話中時の場合、呼出相手が通話終了後、自動的に呼び出せる機能があること。
- ・ 構内放送ページング機能(電話機からのボタン操作で、受話器から既設構内放送を利用して一斉呼出)があること。
- ・ 電話機ページング機能(電話機からのボタン操作で、受話器から構内の電話機スピーカーへ音声による一斉呼出)があること。

- ・ 内線音声呼出機能（電話機からのボタン操作で音声呼出しもできる）があること。
- ・ 内線代理応答機能（特定のグループごとに、他の電話機の着信応答）があること。
- ・ リダイヤル機能（局線番号自動再送）があること。
- ・ 主要出先個別及び内線番号をランプ内蔵ファンクションボタンやワンタッチボタン等に設定し、発信可能な機能があること。
- ・ 共通短縮ダイヤルが 50 個以上設定できること。
- ・ 着信時電話機への内線表示をすること。（該当機器のみ）
- ・ ランプ内蔵ファンクションボタンやワンタッチボタン等には割付けた機能等の表示をすること。
- ・ 仕様を示す機能のほか、市場に流通している一般的な多機能電話機としての標準的機能があること。

（４） 保守

- ・ 年 1 回以上の保守点検を実施し、報告書を提出すること。
保守点検の内容は電話交換機の内線・外線の回線試験、電話交換機の清掃及びバッテリーの点検とし、それに必要な消耗品は負担すること。
- ・ 電話交換機等の故障又は異常を生じた場合は、双方の開校時間又は営業時間内に速やかに技術員を派遣して修理すること。
- ・ 取扱い不良による修理に伴う必要な部品等は有償とする。
- ・ 保守管理業務の対象期間は、令和 8 年 4 月 1 日から令和 16 年 3 月 31 日までとする。

（５） その他

- ・ 電気通信事業法に定める端末設備等規則、同施行規則、電気設備の技術基準、その他関係法令に基づき施工すること。
- ・ 既存の電話交換機及び電話機は撤去し、担当者の指示した場所に保管しておくこと。
- ・ 電話交換設備設置に必要な西日本電信電話（株）等への申請手続きは、全て代行して行うものとする。
- ・ 電話交換設備設置には、電話交換機及びその付属物等に必要な各種設定を含むものとする。
- ・ 電話交換設備設置完了後、関係係員の立会検査合格をもって検収完了とする。
- ・ 配線は原則既設配線を利用するものとする。既設配線に不良個所があった場合、受注者の負担で配線し直し、通話可能な状態にすること。

- ・ 学校保有品の難聴者用電話機を設置している場所がある。この場所についても、電話機が引き続き使用できるよう設定が必要であればあわせて行うこと。
- ・ 電話交換機設備設置に係るすべての費用（保守管理費用、消費税及び地方消費税等を含む）を８年間（96 ヶ月）の賃貸借によることとして費用計算し、見積りすること。
- ・ 契約期間終了の際の電話交換機及び電話機等の撤去及び処分に必要な経費を負担すること。

3 その他

（１） 取付設置作業期間等

- ・ 設備等は契約締結後から令和８年３月３１日までの期間で設置すること。
- ・ 学校業務に支障がないように、取付設置作業を進めること。
- ・ 通話不能になる作業については、作業開始３日前までに担当者に連絡し協議すること。学校業務の関係上、土曜日、日曜日及び祝日を利用する場合もある。
- ・ その他、具体的な作業日は、事前に担当者と打合せること。

（２） 設置場所

- ・ 電話交換機及びその付属物等の校内設置場所及び内線番号一覧については、別途指示する。

（３） その他

- ・ 設備の設置に関して、仕様書に記載のない事項等、疑義が生じた場合は、必ず担当者と協議すること。
- ・ 配布した仕様書は、入札時に回収する。

4 機器構成表

入札説明書に記載のとおり、入札参加資格確認申請書提出時に、納入しようとする機器の機器提案書、機器等一覧表、機器に関して説明したカタログ等を添付して、事前に承認を受けること。